

第1巻

1号

「ミツバチ科学」創刊に寄せて	小原哲郎	1
発刊に際して	岡田一次	2
「ミツバチ科学」に期待する	山中貞則	3
祝辞—国内・外のミツバチ学者から—		4
日本の養蜂	酒井哲夫	7
ハチミツ α -グルコシダーゼ	竹中哲夫	13
ミツバチヘギイタダニ (<i>Varroa jacobsoni</i> Oudemans) の知見	原 淳	17
ミツバチヘギイタダニの薬剤防除について		
	Felix N. Acosta	21
スズメバチ駆除効果の一例	相原信治	23
オオスズメバチの誘引捕殺の試み	岡田一次	24
養蜂と蜜源	太田原芳治	26
第27回国際養蜂会議		
… 竹下富雄・干場英弘・竹島秀夫・井上敦夫		27
ローヤルゼリー	松香光夫	31
Crane, E. ed.: Honey		43
Morse, R.: Honey Bee Pests, Predators and Diseases		43
ニュース		44
ミツバチ科学研究所関係論文リスト		45
国際ミツバチ研究協会 IBRA について		
	松香光夫	46
原稿募集および執筆要項		48

2号

蜂蜜の特性と品質の変化	越後多嘉志	49
異性化糖について	長谷幸	59
U. S. A. における蜂蜜研究のハイライト		
	J. W. White	64
蜂蜜香気成分の検出	渡辺清・越後多嘉志	69
ミツバチ蜂乳中の10-ヒドロキシデセン酸		
	岡田ゆり子	73
蜂蜜の生産と利用	井上敦夫	75
パラグアイ国の養蜂の現状と問題点	竹内一男	79
ミツバチの集めるプロポリス	亀井正治	85
蜜源植物シリーズ 1. ハナダイコン		
	佐々木正己	88
技術トピック—固型蜂蜜—		89
ハチミツの洋書		90
Laidlaw, H. H.: Contemporary Queen Rearing		91
上野実朗: 花粉百話—楽しい入門書—		91
White, J. W., Jr.: Honey. In Advances in Food Research Vol. 24		92
IBRA 発行誌より		92
ミツバチ科学研究会に出席して	小畑博美知	94
ニュース		95

3号

小学校理科におけるミツバチ教材について		
	太田正臣	97
中学生によるミツバチの研究	谷正敏	99
学校におけるミツバチの飼育と活用	佐藤英文	104
雄蜂児を用いたテントウムシの飼育	新島恵子	107
生物教材としてのナミテントウ	佐々間宜良	109
オオスズメバチの樹液孔における行動, 特に種内及び種間の優劣位関係について	松浦誠	111
カラー写真集「ミツバチ」		119
蜜源植物としてのアカシア (<i>Acacia</i>) 属植物について—特にその養苗と造林—	植村誠次	123
教材としてのミツバチ—観察と実験—		
	佐々木正己	127
蜜源植物シリーズ 2. ハコネウツギ・杉本和永		139
ミツバチ解剖の洋書		140
岡田一次: ミツバチ		141
IBRA 発行誌より		142
ニュース		143

4号

日本におけるミツバチヘギイタダニの推移とその防除—養蜂家のアンケートを中心に—		
	酒井哲夫・竹内一男	145
西ドイツにおけるミツバチヘギイタダニ (<i>Varroa jacobsoni</i> Oudemans) とその防除		
	N. Koeniger, W. Ritter, F. Ruttner	151
台湾における <i>Varroa jacobsoni</i> Oudemans のグビートルによる防除効果とその施用方法		
	何鑑光・安奎	155
ミツバチのノゼマ病に関する研究 I. 台湾におけるノゼマ病原虫の季節消長		
	安奎・何鑑光	157
チョークブルード病の防除, その可能性と問題点		
	M. Gilliam	159
アメリカ腐蛆病の防除—過去と現在のアメリカ腐蛆病防除法—	H. Shimanuki	163
ミツバチを襲うジガバチ <i>Philanthus triangulum</i> (F.) について		
	R. T. Simonthomas, A. M. J. Simonthomas	167
第16回国際昆虫学会議の報告	干場英弘	171
国際昆虫・ミツバチ学者の来学	岡田一次	173
国際昆虫学会議に参加して	佐藤道夫	174
イタリヤからの見学者を迎えて		
	岸野憲逸・鈴木勲・清水進一	175
ミツバチの農業に対する感受性の差異—特に季節および日令の影響—	肥後正則	177
中野茂ほか: ミツバチ (加除式農業技術大系畜産編)		180
雪国でのミツバチ飼育の工夫	倉田佑治	181
第2回ミツバチ科学研究会に参加して	堀部清	184
蜂病対策雑感	井上敦夫	185
苦境にある我が国の養蜂を考える	峰田恒雄	186
蜜源植物シリーズ 3. コスモス	田中肇	187
ミツバチ病虫害の洋書		188
IBRA 発行誌より		189
ニュース		190

第2巻

1号

ミツバチの遺伝学と、花粉媒介者育種への応用	----	H. H. Laidlaw	1
ミツバチの雌雄と染色体	-----	干場英弘	5
スミチオン農業と蜜源植物	-----	石崎厚美	11
蜂ヤニ (Propolis) の収集法	-----	越智孝	16
わが村の日本蜂の過去と現況	-----	井上太郎	17
対馬の日本蜂を訪ねて	-----	井上太郎	19
ニホンミツバチ飼育場見学記	-----	山上進	23
ニホンミツバチの庭先飼育	-----	岡田一次	27
南紀のニホンミツバチ	-----	下地政晴	37
私の蜜蜂	-----	高島泰三	38
ミツバチを語る	-----	一村信義	39
蜜源植物シリーズ 4. ウメ	-----	梅木信一	40
養蜂技術の洋書	-----		41
Crane, E.: A Book of Honey	-----		42
IBRA 発行誌より	-----		43
Dr. ハリー H. レイドロー特別講演	----	下鳥大作	44
レイドロー博士滞在記	-----	一盛和世	45
第28回国際養蜂会議メキシコで開催	-----		46
ニュース	-----		47
ミツバチ科学研究所関係論文リスト	-----		48

2号

施設ハウス内における花粉媒介用ミツバチの放飼 とその効果	-----	辻川義寿	49
栃木県におけるイチゴのハウス栽培とミツバチ	----	下鳥喜工	57
ミツバチ利用によるハウス栽培小玉スイカの花粉 媒介	-----	山田光夫	60
ミツバチ花粉ダング利用によるリング授粉効果	----	岡田一次・佐々木正己・丸山晴奈	63
マメコバチの授粉効果と必要飼養数	-----	前田泰生・北村泰三	65
おうとうの花粉媒介—マメコバチの自家飼養につ いて—	-----	高橋 忍	73
寄贈文献リスト	-----		73
第3回ミツバチ科学研究会に参加して	-----	折戸金蔵・赤池勇造	74
日本における旧式養蜂の歴史	-----	渡辺孝	75
蜜源は誰のもの	-----	石松武雄	87
漁業資源としての蜜源樹	-----	光源寺岑生	89
蜜源植物シリーズ 5. トチノキ	-----	田中正	91
ミツバチ花粉媒介の洋書	-----		92
岩波洋造: 花粉学	-----		93
IBRA 発行誌より	-----		94
ニュース	-----		95

3号

国産ハチミツの含有花粉に関連して	-----	幾瀬マサ・佐橋紀男・前田英則	97
ミツバチ大あご腺中の花粉発芽抑制物質	-----		102
夏	-----	岩松みどり	102
夏の蜜源樹	-----	三木順一	111
シナノキとシナ蜜	-----	岡田一次	113
ハチノスツツリガの生態と防除	-----	吉田敏治	115
生ローヤル・ゼリー中の10-ハイドロキシ-2-デセ ン酸の加熱に対する安定性について	-----	埼玉養蜂株式会社技術部	123
ミツバチのいわゆる「カビ病」に対する消毒試験に ついて	-----	俵孝	125
国際障害者年とミツバチのメダル	-----		126
農業によるミツバチの中毒—徴候, 中毒にかかわ る原因, 現状の問題点および防止策—	-----	C. A. Johansen	127
私とミツバチ	-----	市村武雄	137
蜜源植物シリーズ 6. うり類	-----	富樫稔	138
花粉の洋書	-----		139
M. メーテルリンク (山下知夫・橋本綱 共訳): 蜜 蜂の生活	-----		140
中村 純: 日本産花粉の表徴 I, 同 II	-----		140
IBRA 発行誌より	-----		141
ニュース	-----		142
原稿執筆要領	-----		144

4号

鳥取県養蜂の推移	-----	末次晃	145
栃木県の養蜂	-----	下鳥大作	147
瓜蜂が認知されるまで—ハウス小玉西瓜の増産体 験—	-----	福田耕一	153
熊野路のニホンミツバチ	-----	原道徳	157
蜜源植物・秋咲くバクチノキ <i>Prunus zippeliana</i> Miq.	-----	中野平義	161
パラグアイにおける養蜂技術協力	----	吉田忠晴	163
ビルマ養蜂の近況	-----		173
-----	-----	Kyaw Hlaing, Nyunt Sann	173
日本蜜源植物の花形形態—写真観察を中心に—	-----	北島一良	175
アピモンディアと国際養蜂会議	-----		185
-----	-----	国際養蜂会議・日本招致準備委員会	185
蜜源植物シリーズ 7. ビワ	-----	赤羽記雄	187
ミツバチ写真の洋書	-----		188
坂本与市, 岡田一次編: 畜産昆虫学	-----		189
石井象二郎編: 昆虫学最近の進歩	-----		189
IBRA 発行誌より	-----		190
「ミツバチの不思議な世界展」から	-----		191

第3巻

1号

ミツバチ大あご腺中の9-オキソデセン酸と10-ヒドロキシデセン酸	佐藤道夫	1
薄層クロマトグラフィーによる抗生物質分析への予備実験	一盛和世	9
ローヤル・ゼリーの生産について	小野保一	11
ローヤル・ゼリーの民間療法	井上丹治	15
アラビアのハチミツと伝統	Ali Elzubi	19
農薬の空中散布によるミツバチ被害の防止対策について	桜井寿	21
薬液のミツバチに対する毒性検定(中間報告)	齊藤武司	23
蜂蜜中毒体験記	石川清五郎	25
ミツバチと遺伝学者 Mendel	片岡勝美	29
ローヤル・ゼリーの日本文献	玉川大学ミツバチ科学研究所	31
第28回国際養蜂会議—メキシコで開催—	下島大作・井上敦夫・竹内一男	41
蜜源植物シリーズ 8. サクラ	松井孝	44
ローヤル・ゼリーの洋書		45
IBRA 発行誌より		46
ニュース		47
大谷剛, 栗林慧: ミツバチ		47
ミツバチ科学研究所関係論文リスト		48
養蜂組合誌紹介		48

2号

熱帯地方の農村開発における養蜂	G. F. Townsend	49
給餌物中のテラマイシンと蜂体および貯蜜中への移行	M. Gilliam, R. J. Argauer	55
チョークブルード病の起因菌・ハチノスカビ (<i>Ascosphaera</i>) について	古谷航平	63
ローヤルゼリーの一般化学成分について	竹中哲夫	69
ミツバチ花粉ダンゴ利用によるナシ(梨)授粉効果	岡田一次・新島恵子・芦澤いづみ	75
ローヤルゼリーの臨床	渡会浩	77
ピンクアカシアの増殖の一方法	最上愿治・小畑博美知	83
蜜蜂の種類と系統	中野平義	84
第28回国際養蜂会議メキシコ・アカプルコ大会に出席して	石踊利男・高見秀雄	85
第4回ミツバチ科学研究会に参加して	光源寺岑生・肥後一夫・越智孝	87
養蜂組合誌紹介		89
蜜源植物シリーズ 9. レンゲ	安江多輔	90
ミツバチ生態の洋書		91
U. S. Dept. Agric.: Beekeeping int the United States		92
IBRA 発行誌より		93
コーネル大学教授モース博士を迎えて	小畑博美知・干場英弘・佐藤道夫	94
ニュース		96

3号

熊本県の養蜂	堀部清	97
愛知県の養蜂	小林忠七	103
石川県の養蜂	惣田甚郎	107
ミツバチヘギイタダニ <i>Varroa jacobsoni</i> 生殖の生物学的研究	D. Sulimanovic, F. Ruttner, H. Pechhacker	109
パラグアイで見たミツバチ	堀田康雄	113
紫外線写真による花の観察—栽培種の場合	田中肇	117
ミツバチ花粉ダンゴ水抽出物の花粉発芽抑制能力	芦澤いづみ	119
ミツバチ花粉ダンゴ(モモ, ナシ, リンゴ)の収量と純度	加藤温人	121
ローヤル・ゼリー中のグルコースオキシダーゼについて	井上秀雄	123
加熱ローヤル・ゼリーによるミツバチ幼虫の人工飼育	金子正彦	125
ローヤルゼリーおよび蜂蜜に関する卒業論文を総括して	越後多嘉志・竹中哲夫	127
蜂蜜の糖, 有機酸および遊離アミノ酸組成と嗜好との関係	真山昭彦・中島明子・越後多嘉志	131
フタホシコロロギ <i>Gryllus bimaculatus</i> のミツバチ生産物による栄養実験	笹川浩美	135
ローヤル・ゼリーによるクロオオアリの飼育実験	古川博一	137
APIMONDIA NEWS		139
蜜源植物シリーズ 10. ヤナギラン	中野茂	140
ミツバチ収穫ダンスの洋書		141
岩田久二雄: 日本蜂類生態図鑑		143
IBRA 発行誌より		143
ニュース		144

4号		
プロポリス, その化学成分と生物活性	滝野慶則・持田俊二	145
チカイエカに対するローヤル・ゼリーの効果	一盛和世	153
郵便切手とミツバチ	井上敦夫	159
静岡県の養蜂	竹下富雄	171
大分県の養蜂	石松武雄	175
APIMONDIA NEWS		181
蜜源植物シリーズ 11. ヤブツバキ	萩屋薫	182
ミツバチ人工授精の洋書		183
渡辺孝, 清水美智子: ハチミツ健康法—ハチミツ料理 147種—		184
日向鈴子: ミヤコ蝶々のハチミツ健康・美容法		184
安江多輔, 土屋卯平: 岐阜県の花レンゲとその栽培史		184
IBRA 発行誌より		185
Bailey, L.: Honey Bee Pathology		185
ニュース		186
養蜂組合誌紹介		186
総索引 第1巻(1980)~第3巻(1982)		187

第4巻

1号

ウメの花粉検, 不稔性花に対するミツバチの訪花 特異性とその要因	中西テツ	1
ハチ毒の化学	中嶋暉躬	9
ミツバチによるアレルギー	宮地純樹	15
私の蜂針療法	太田直喜	21
蜂針療法の重要性	深沢光一	25
蜂針療法(成功と失敗)	佐川護	27
ミツバチの盗蜂習性—日本種巣箱への西洋種侵入 の場合	岡田一次	29
米国の養蜂研究所印象記	佐々木正己	37
養蜂関係資料		41
APIMONDIA NEWS		44
蜜源植物シリーズ 12. ナタネ	三木順一	45
Drescher, W., E. Crane: Technical Cooperation Activities		46
IBRA 発行誌より		47
大村光良作, 金子恵子絵: みつばちの家族は 50,000 びき		47
ニュース		48
ミツバチ科学研究所関係図書・論文リスト		48

2号

カール・フォン・フリッシュ (K. von Frisch)	20
世紀の偉大な生物学者	M. Lindauer 49
K. v. フリッシュ先生を悼む	桑原万寿太郎 55
花粉とその利用法	上野実朗 57
空中花粉と花粉アレルギー	齊藤洋三・竹田英子 67
花粉荷および空気中の花粉の観察方法について	幾瀬マサ・佐橋紀男 73
ハチミツの花粉分析法	杉本和永 79
ミツバチ花粉ダングの果樹ポリネーションへの利 用—洗浄法の改善と処理花粉の長期保存—	酒井哲夫・佐々木正己・田中耕一郎 81
茨城県の養蜂	浅川進 83
第5回ミツバチ科学研究会に参加して	折戸金蔵・藤井新三・松原通夫 87
養蜂組合誌紹介	89
技術トピックス—粉末ハチミツについて—	藤井守一 90
APIMONDIA NEWS	91
蜜源植物シリーズ 13. ニセアカシア	石川茂雄 92
井上丹治: ローヤル・ゼリー健康法—からだを 「シン」から丈夫にする—	93
内田享: 蜜蜂と花時計	93
IBRA 発行誌より	95
ニュース	95

3号

ミツバチのダンスは本当に言葉か—Gould 論文の 批判—	大谷剛 97
日本における初期のミツバチヘギイタダニ症と最 近の奇形蜂多発	北岡茂男 105
ミツバチの奇形蜂発生について	奥紘一郎・原伸也・佐野弘 109
奇形蜂のミツバチヘギイタダニ原因説までの経緯	米村弘 111
酢酸溶液噴霧によるミツバチヘギイタダニの駆除	竹内一男・原田佳一 113
スマトラにおける野生ミツバチ3種の営巣習性	松浦誠 117
キイロスズメバチの捕護法について—肥後一夫	123
クロスズメバチの糖液誘引	岡田一次 127
三重県の養蜂	水谷正一 129
兵庫県の養蜂	依孝 131
ボダイジュ(シナノキ)について	峰田恒雄 139
蜜源植物シリーズ 14. ヒマワリ	稲津厚生 142
Breed, M. D., C. D. Michener, H. E. Evans (Ed.): The Biology of Social Insects	143
IBRA 発行誌より	144
ニュース	144

4号

ハチミツに含まれる花粉 浅生明美・伊藤里美・ 伊藤裕喜子・後藤美紀・岡田ゆかり	145
雄蜂児粉末(DP)の製法と利用	新島恵子 151
雄蜂児粉末利用による益虫の飼育とその応用	長谷川誠・佐伯裕子・佐藤ゆみ子 153
オオスズメバチの誘引物質	溝上健文 157
ローヤル・ゼリーおよびハチミツに関する卒業論 文を総括して	越後多嘉志・竹中哲夫 163
ミツバチとその行動	干場英弘 167
日本におけるローヤル・ゼリーの取引と消費	吉田忠晴・松香光夫 181
世界のハチミツ生産 Bee World 誌より	185
国際ミツバチ研究協会 IBRA について	松香光夫 187
APIMONDIA NEWS	188
蜜源植物シリーズ 15. ヤツデ	石川晶生 189
IBRA 発行誌より	190
第4巻(1983) 索引	191

第5巻

1号

ニホンミツバチ働蜂産卵の一例—特に卵巣小管数の観察を中心に—	佐藤道夫・小野正人・下牧重俊	1
ローヤルゼリー中のタンパク質、ペプチド、遊離アミノ酸について	竹中哲夫・越後多嘉志	7
自然への関心を高める—ミツバチを使った学習指導の実際—	佐藤邦昭	13
ミツバチ飼育の思い出	石川茂雄	19
音楽の中のミツバチ—私のコレクションから—	恩田賢司	23
ハチミツの日本文献	玉川大学ミツバチ科学研究所	27
第29回国際養蜂会議—ハンガリーで開催—	竹下富雄・下鳥大作・畠山章一	39
APIMONDIA NEWS		43
蜜源植物シリーズ 16. イチゴ	藤重宣昭	44
Apimondia 発行誌より		45
坂上昭一：ミツバチの世界		45
深沢光一：みつばち健康法		46
J. C. ケンリー，内山健次訳：ミツバチの都—ケンリーおばさんの博物記—		46
IBRA 発行誌より		47
後藤克夫：ローヤルゼリー驚異のR効果		47
ニュース		48
ミツバチ科学研究所関係図書・論文リスト		48

2号

マメコバチによる受粉からみたリング開花期における気温の年次変動	山田雅輝・高木学	49
ポリネーターとしてのミツバチの特性と花粉ダンゴ利用の可能性	佐々木正己	55
ミツバチの日齢に伴うハチ毒成分の変化	井上秀雄	63
蜂針治療の実際	山田幸生	67
青森県の養蜂	太田襄二	71
女王蜂直接更新法について	折戸金蔵	77
顕微鏡観察の最初の記録	D. Bardell	79
転地養蜂家・同行取材記	名智健二	81
第6回ミツバチ科学研究会に参加して	相田由美子・津村枝井子・鈴木一男	89
養蜂組合誌紹介		91
APIMONDIA NEWS		92
蜜源植物シリーズ 17. キウイフルーツ	脇孝一	93
Crane, E., P. Walker: The Impact of Pest Management on Bees and Pollination		94
Apimondia 発行誌より		94
渡辺孝：ローヤルゼリーの科学		95
IBRA 発行誌より		95
ニュース		96

3号

「女王」になるまえの女王バチ—スズメバチ創設女王の生物学—	牧野俊一	97
ミツバチとスズメバチとの戦い	岡田一次	105
ミツバチのスズメバチ(胡蜂)対策—防御から共存まで—	堀部清	113
ミツバチのチョークブルード病についての—防除試験—	田中幹生・渡部太平・俵孝・花木繁・内山健太郎・富永勝・稲次治治	117
高速液体クロマトグラムのオリゴ糖パターンによる蜂蜜中の異性化糖の検出	兼松弘・牛草寿郎・丸山武紀・新谷 昉・相田由美子	121
蜂蜜およびローヤルゼリーの抗菌作用	八並一寿・越後多嘉志	125
人工花粉ダンゴ法によるミツバチ花粉ダンゴ中の発芽阻害要因の検討	中西順子	131
熱帯・亜熱帯アジアにおけるセイヨウミツバチ養蜂の可能性—FAO主催の専門家会議に出席して—	佐々木正己	133
蜂治療50周年・蜂供養に参加して	佐藤邦昭	137
インドのボダイジュについて	上野実朗	139
蜜源植物シリーズ 18. ソバ	生井兵治	140
APIMONDIA NEWS		141
Apimondia 発行誌より		143
IBRA 発行誌より		143
Crane, E.: The Archaeology of Beekeeping		144

4号

スウェーデンの養蜂	I. Fries	145
ミツバチ唾腺の微細構造	佐藤道夫	147
マルハナバチの刺毒について	井上秀雄・中嶋暉明	151
ミツバチ花粉ダンゴの凍結粉砕	埼玉養蜂株式会社技術部	155
ニホンミツバチとセイヨウミツバチの訪花植物—花粉ダンゴによる調査の一例—	窪田阿砂美	157
ミツバチ越冬死の一例—ニホンミツバチとセイヨウミツバチの比較—	岡田一次・小野正人・栗原徹・中村千里	159
ハチミツ—Honey—	越後多嘉志	167
ヨーロッパのミツバチ研究所を訪ねて	酒井哲夫	177
ミツバチ生産物の2, 3の効果—フランス Donadieu 博士の新書から—	関沢泰治	181
「ミツバチの家」について	児玉茂吉	185
蜜源植物シリーズ 19. チャ	渡部尚久	186
APIMONDIA NEWS		187
松浦誠，山根正気：スズメバチ類の比較行動学		188
Apimondia 発行誌より		188
IBRA 発行誌より		189
ニュース		190
第5巻(1984)索引		191

第6巻

1号

世界の養蜂とハチミツ生産	E. Crane	1
ローヤル・ゼリー (Royal jelly) の変異原性に関する研究	田村豊幸・藤井彰・久保山昇	7
スズメバチの毒	阿部岳	13
プラスチック・ストローを材料に用いた人工巣板の製作と利用	藤原誠太	25
愛媛のニホンミツバチ	越智孝	31
シルクロード (絲綢之路) にハチミツを求めて	清水進一	39
蜜源植物シリーズ 20. ツワブキ	今市涼子	45
APIMONDIA NEWS		46
IBRA 発行誌より		47
Apimondia 発行誌より		47
ミツバチ科学研究所関係図書・論文リスト		48
深沢光一：野人混交翁		48

2号

ミツバチの生殖に関する問題について	R. A. Morse	49
スズメバチ類の生態—なぜミツバチを襲うか—	松浦誠	53
春夏季に花を訪れるハチとハナアブ類	鶴鳴女子高等学校生物クラブ	65
教材としてのミツバチの研究	山下孝幸	75
転飼養蜂	原淳	83
第7回ミツバチ科学研究会に参加して	青木圭三・佐野匡・斉藤昌子	87
ミツバチ (花粉媒介者) と農薬	清水利昭	91
APIMONDIA NEWS		92
蜜源植物シリーズ 21. オオイヌノフグリ	杉本和永	93
Apimondia 発行誌より		95
IBRA 発行誌より		95
全国転地養蜂農業協同組合：全国みつばち飼育者名鑑		96
ニュース		96

3号

玉川大学におけるミツバチ研究	酒井哲夫	97
ミツバチ科学研究の流れ	E. Crane	101
ブラジルのアフリカ蜂化ミツバチ	W. E. Kerr	105
セイヨウミツバチにおける女王蜂の体重と卵巣小管、卵、有蓋蜂児数との関係	Huang Wen-Cheng, Zhi Chong-yuan	113
ローヤルゼリー (Royal jelly) の臨床薬理に関する研究	田村豊幸	117
第3回国際熱帯養蜂会議—養蜂に関する専門家委員会および世界養蜂センターのためのよびかけ—	竹内一男	125
第30回国際養蜂会議発表論文題目		127
APIMONDIA NEWS		133
蜜源植物シリーズ 22. アザミ類	田中馨	135
Crane, E., P. Walker, R. Day: Directory of Important World Honey Sources		136
Crane, E., P. Walker : Pollination Directory for World Crops		136
IBRA 発行誌より		137
Apimondia 発行誌より		137
ニュース		138
カラー写真集「日本の養蜂」		139

4号

第30回国際養蜂会議発表論文紹介		
第30回国際養蜂会議学術プログラム委員会		145
日本の養蜂	吉田忠晴	166
最近の各国における養蜂研究の動向	岡田一次	173
養蜂用語の整理・統一について	玉川大学ミツバチ科学研究所	185
APIMONDIA NEWS		187
Cavalloro, R.(Ed): <i>Varroa jacobsoni</i> Oud. Affecting Honey Bees		188
Morse, R. A. T. Hooper (Ed) : The Illustrated Encyclopedia of Beekeeping		188
Apimondia 発行誌より		189
IBRA 発行誌より		189
ニュース		190
第6巻 (1985) 索引		191

第7巻

1号

トウヨウミツバチ <i>Apis cerana</i> Fabr. の特徴と地理的変異	F. Ruttner	1
ミツバチの人工蛋白飼料	H. Shimanuki, E. W. Herbert, Jr.	5
ミツバチ花粉について	J. M. Parkhill	9
合成フェロモン類による蜂群コントロールの可能性	J. B. Free	13
第30回国際養蜂会議を振り返って	吉田忠晴	16
第30回国際養蜂会議に参加して	深江義忠	20
記念切手の発行と世界のみつばち展	井上敦夫	22
国際会議を終えて	中村正	24
コンテスト委員会報告	下鳥大作	27
アピモンディア印象記	渡辺孝	33
国際会議での蜂針療法	山田幸生	35
国際会議出席の前後	干場英弘	37
結実させたいアピモンディアの花—国際会議の印象—	渡辺英男	39
養蜂関連機関, 全国養蜂組合, 蜂具販売店リスト		41
蜜源植物シリーズ 23. ビービーツリー	井上敦夫	44
酒井哲夫, 藤丸篤夫, 海野和夫: ミツバチ (集英社カラーサイエンス)		45
玉川大学ミツバチ科学研究所: 国際ミツバチ研究協会・養蜂用語辞典第9巻		45
Indian Agric. Res. Inst. (Ed): Second International Conference on Apiculture in Tropical Climates		46
IBRA 発行誌より		46
ニュース		47

2号

ニホンミツバチとセイヨウミツバチ—岡田一次	49
ソバの花におけるミツバチ (ニホンミツバチとセイヨウミツバチ) およびクロスズメバチの採餌行動について	濱川秀正 53
蜜源植物としてのレンゲについて	安江多輔 57
合成ピレスロイド剤のミツバチに及ぼす影響	笠松紀美 61
ミツバチ (<i>Apis mellifera</i>) チョーク病の発病機序について その1. <i>Ascospaera apis</i> の培養液中での発育変化	高木英二 65
チョーク病防除のための有効薬剤の選択と野外応用について	梶川和彦・中根崇 69
ミツバチのチョーク病とその対策—再現試験と防除試験および残留試験—	児玉一美 75
有機酸発酵生産物によるチョーク病およびミツバチヘギイタダニの防除法	吉田健司 79
簡単に出来る女王蜂更新法	折戸金蔵 83
素人の蜂飼日記	高島泰三 85
第8回ミツバチ科学研究会に参加して	小林三千男・秋山雅男・川村将興・山下孝幸・山路宗利 87
第30回国際会議 決議文	92
蜜源植物シリーズ 24. ナシ	竹内一男 93
蜂と金剛院	94
Seeley, T. D.: Honeybee Ecology	95
ニュース	96
IBRA 発行誌より	96
ミツバチ科学研究所関係図書・論文リスト	96

3号

花粉だんごの化学成分組成に関する研究	越後多嘉志・八並一寿	97
最近の市販ハチミツの品質について—主としてハイドロキシメチルフルフラール, ジアスターゼ活性値について—	相田由美子	101
日本におけるローヤルゼリーの経緯について	鈴木勲	105
蜂針療法の臨床効果	吉元昭治	109
食品としてのミツバチ花粉とその使用例	田頭謹吾	113
寒冷地におけるミツバチ周年飼育	小林昌瑛	116
ミツバチ (<i>Apis mellifera</i>) チョーク病の発病機序について その2. <i>Ascospaera apis</i> 感染幼虫の病理組織変化と貯蔵花粉における寄生状況	高木英二	120
ミツバチヘギイタダニがミツバチに及ぼす影響	原伸也・岩堀剛彦・小栗諭・伊東長生	125
ミツバチヘギイタダニ駆除剤パロテックス®について	中村行雄	129
私のオオスズメバチの防除	宮川忠治	133
オオスズメバチ営巣場所の発見とその処理	久米田勲	135
ネパールにミツバチを追って	大村光良	138
蜜源植物シリーズ 25. サルスベリ	佐々木正己	141
IBRA 発行誌より	142	
養蜂組合誌紹介	143	
ニュース	144	

4号

ハナバチによる花卉表面微細構造にもとづく異種植物の識別	P. G. Kevan, M. A. Lane	145
インドミツバチ <i>Apis cerana indica</i> F. の生物学的および経済学的特性	L. R. Verma	151
ミツバチヘギイタダニの繁殖圏内での新防除法 (予報)	M. D. Ifantidis, A. T. Thrasylvoulou, N. Pappas	158
ミツバチヘギイタダニ駆除薬剤のくん煙法によるスクリーニングテスト	渡部和夫	161
ミツバチ (<i>Apis mellifera</i>) チョーク病の発病機序について その3. 膜翅異常蜂の発生とその病原学的検討	高木英二	165
液体窒素を用いたセイヨウミツバチ (<i>Apis mellifera</i> L.) 精子の保存	O. Kaftanoglu, Y. S. Peng	169
中国の養蜂	Qiu Juanbin	173
東南アジアにミツバチを求めて—マレーシア・タイ旅行記—	干場英弘・井上秀雄・今西誠・小野正人	175
国際社会性昆虫学会第10回ミュンヘン大会報告	ヘンケン	179
ヨーロッパの社会性昆虫研究機関歴訪記 I—昆虫学者, 自然との出会い—	小野正人	183
蜜源植物シリーズ 26. サザンカ	稲津厚生	187
IBRA 発行誌より	188	
第30回国際養蜂会議組織委員会, (株)日本養蜂はちみつ協会: 第30回国際養蜂会議総集録	188	
Piek, T. (Ed): Venoms of the Hymenoptera	188	
IBRA (Ed): Proceedings of the Third International Conference on Apiculture in Tropical Climates	189	
ニュース	190	
第7巻 (1986) 索引	191	

第8巻

1号

冬のミツバチ群 (前半)	
..... T. S. K. Johansson, M. P. Johansson 1	
福岡県におけるハイブリッド・ミツバチ作出に関する研究	深江義忠 7
十津川村のニホンミツバチ	原道徳 11
ミツバチとリンゴの掛け橋	下山文雄 17
高速液体クロマトグラフィーによるハチミツ中の H. M. F. の定量	
..... 茂木みゆき・小谷野純子・清水公博 21	
ヨーロッパの社会性昆虫研究機関歴訪記Ⅱ—昆虫学者、自然との出会い—	小野正人 24
ミツバチに光を求めて	石松武雄 28
ミツバチと人との出逢い	井上太郎 31
私のミツバチ記録	山上進 35
私の養蜂通信から	太田正臣 39
蜜源植物シリーズ 27. 柑橘類	今市涼子 43
外国の養蜂・ハチミツ事情—バンコク・ポスト紙記事より—	44
岡田一次: ミツバチ記	46
Adey, M., P. Walker, P. T. Walker: Pest Control Safe for Bees; A Manual and Direction for the Tropics and Subtropics.	47
Erickson, E. H. Jr., S. D. Carlson, M. B. Garment: A Scanning Electron Microscope Atlas. Of the Honey Bee.	47
ニュース	48
ミツバチ科学研究所関係図書・論文・資料リスト	48

2号

冬のミツバチ群 (後半)	
..... T. S. K. Johansson, M. P. Johansson 49	
ハチミツの結晶化について	
..... 越後多嘉志・M. Araghi・山上雪比古 54	
植物のにおいとバイオアート	岩波洋造 59
玉川大学昆虫学研究室における最近のミツバチ研究の動向 I. 基礎研究	佐々木正己 63
自然療法におけるプロポリス	Y. Donadieu 67
西ドイツでの共同研究を終えて	竹中哲夫 83
中野茂氏の想い出	八戸芳夫 87
中野先生を偲ぶ	深沢光一 88
第9回ミツバチ科学研究会に参加して	
..... 間室輝雄・福田道弘・古沢幸久・湯浅高之 89	
蜜源植物シリーズ 28. モモ	吉田雅夫 93
Hepburn, H. R.: Honeybees and Wax, An Experimental Natural History.	94
Rinderer, T. E. (Ed.): Bee Genetics and Breeding.	94
IBRA 発行誌より	95
ニュース	96

3号

セイヨウミツバチ女王蜂, 働き蜂, 雄蜂のふ節腺—足跡物質の化学分析—	Y. Lensky, A. Finkel, P. Cassier, A. Teeshbee, R. Schlesinger 97
蟻酸ガスによるミツバチヘギイタダニの駆除試験	岡田望・中根崇 103
日本産スムシ2種に対する寄生蜂 <i>Apanteles galleriae</i> の寄生生態	島森浩一 107
ニホンミツバチの働き蜂における体色の変異	
..... 小野正人・鶴田智子 113	
玉川大学昆虫学研究室における最近のミツバチ研究の動向 II. 応用研究	佐々木正己 115
第1回国際レンゲ会議について—中国およびアメリカにおけるレンゲ栽培と研究の紹介—	
..... 安江多輔 119	
ネパールの養蜂—チェパン族開発事業の現場から—	中村純 124
ミード (ハチミツ酒)	Bro. Adam 134
外国の養蜂・ハチミツ事情 創立25周年を迎えたインド中央養蜂研究所	140
IBRA 発行誌より	143
Free, J. B.: Pheromones of Social Bees.	143
ニュース	144

4号

花粉媒介におけるミツバチの利用—我が国の現状と将来—	佐々木正己 145
イチゴの授粉のためのミツバチ利用の現状—栃木県の場合—	片山栄介 147
メロン授粉のためのミツバチ利用の現状—清水市の場合—	杉山肇 151
スイカ授粉のためのミツバチ利用の現状—熊本県の場合—	福田道弘 155
ミツバチによる花粉交配—徳島県のウメ・ナシの場合—	野田正義 159
ナシ授粉のためのミツバチ利用の現状—栃木県の場合—	遠藤国雄 163
カキ授粉のためのミツバチの放飼技術	
..... 深江義忠・浜地文雄・辻川義寿 167	
キウイ授粉のためのミツバチ利用の現状	
..... 佐野栄治 172	
ハナバチ類の性決定機構	W. E. Kerr 176
私の養蜂技術改良案3題	松永嘉郎 183
日本へ侵入したアルファルファコゾウムシ	
..... 森本桂 186	
蜜源植物シリーズ 30. アルファルファ	
..... 神戸三智雄 187	
Prÿs-Jones, O. E., S. A. Corbet: Bumblebees.	188
Menzel, R., Mercer, A. (Ed.): Neurobiology and Behavior of Honeybees.	188
IBRA 発行誌より	189
Pasteels, J. M., J. L. Deneubourg (Ed.): From Individual to Collective Behavior in Social Insects.	189
ニュース	190
第8巻 (1987) 索引	191

第9巻

1号

暖地リングにおけるマメコバチの利用	
..... 吉田亮・前田泰生	1
アカリダニの寄生生態	中村千里 7
働き蜂 (<i>Apis mellifera</i>) の下咽頭腺によるローヤルゼリータンパク質の生合成	竹中哲夫 13
ニホンミツバチの蜂球による発熱を利用した防御行動	小野正人・岡田一次・佐々木正己 19
ミツバチに対する殺虫剤の影響の評価法—ヨーロッパにおける試験方法の統一	新島恵子 23
第31回国際養蜂会議—ワルシャワで開催—	
..... 吉田忠晴・松香光夫・渡辺英男	27
ミツバチ寄生ダニ類とその防除に関するワークショップ	吉田忠晴 33
ミツバチヘギイタダニ駆除の一考察	船木貫二 35
私の「観光養蜂場」	丹羽新太郎 37
世界のハチミツ生産 Bee World 誌より	41
蜂病研究会発足について	末次晃 43
蜜源植物シリーズ 31. クローバー・植田精一	44
International Trade Centre UNCTAD/GATT.: A study of major markets.	45
Winston, M. L.: The Biology of the Honey Bee.	45
Giles, K. E. and J. Parakash (Ed.): International Review of Cytology Vol.107; Pollen.	46
ニュース	47

2号

ミツバチとその学名—Ruttner 教授の新著の紹介をかねて—	平嶋義宏 49
蜜源植物としてのレンゲの利用開発	安江多輔 57
稲作転換政策としてのレンゲ栽培の実情	
..... 末次晃 61	
多女王群の作成法	折戸金蔵 65
ローヤルゼリーの品質変化について	
..... 八並一寿 67	
熱帯および亜熱帯アジアにおけるトウヨウミツバチ養蜂の振興に関する会議に参加して	
..... 小野正人 72	
野外解放空間に営巣されたニホンミツバチ (<i>Apis cerana japonica</i>) の自然巣	
..... 佐々木正己・岡田一次 77	
渡マレーシア報告—マレー部落に住んで—	
..... 伊藤知文 79	
第10回ミツバチ科学研究会	
..... 酒井哲夫・酒井清六・鈴木美雄・藤原誠太 81	
創立50周年を迎えたフランクフルト大学ミツバチ科学研究所	吉田忠晴 85
蜜源植物シリーズ 32. ブルーベリー	田中宏 86
新しい IBRA	松香光夫 87
International Book Selection Bee World 誌より	89
Fry, C. H.: The Bee Eaters.	93
Ruttner, F.: Biogeography and Taxonomy of Honeybees.	93
田村豊平監督：ローヤルゼリー	94
Apimondia 発行誌より	94
IBRA 発行誌より	95
ニュース	96

3号

ミツバチを利用した花粉媒介—特にイチゴ生産を中心に—	酒井哲夫・松香光夫 97
ハチミツ中のボツリヌス菌について	
..... 阪口玄二 102	
雄蜂の生物学と行動学	R. W. Currie 107
プロポリスの化学成分と生体反応	井上浩郷 115
キンリョウヘンにひかれるニホンミツバチの分蜂群—八代市二見からのレポート—	福田道弘 127
野外空間で越冬したニホンミツバチの自然巣とその除去作業	丹羽新太郎 131
ボルネオ島のサバミツバチ, <i>Apis vechti</i> Maa, 1953—最近の文献紹介を中心に—	小野正人 133
主要なミツバチ病害虫の世界分布	
..... N. Bradbear 135	
蜜源植物シリーズ 33. ヤブガラシ	杉本和永 139
International Book Selection (2) Bee World 誌より	140
Apimondia 発行誌より	143
ニュース	144
ヨシフ・ハリフマン：ミツバチの世界	143

4号

ミツバチと3種の巣虫	岡田一次 145
パキスタンにおけるセイヨウミツバチと他の3種のミツバチの競合	R. Ahmad 150
蜜源樹木の保全について	渡辺元 152
ミツバチに対する砂糖給餌 I	
..... T. S. K. Johansson, M. P. Johansson 158	
中国の養蜂事情—私の触れた雲南、北京地方について—	山田幸生 166
フランクフルト大学ミツバチ科学研究所の小型巣箱とフライト・ルーム	吉田忠晴 170
第2回オーストラリア国際養蜂会議	
..... 酒井哲夫・松香光夫・中村源次郎 173	
第18回国際昆虫学会議に参加して	竹内一男 178
カナダ・アメリカのミツバチ研究室訪問記—最近の研究動向を探る—	佐々木正己 180
映画「童謡物語」を見て	原淳 184
世界のハチミツ生産 Bee World 誌より	185
蜜源植物シリーズ 34. サルビア	廣部達道 187
Jones, C. E., R. J. Little (Eds.): Handbook of Experimental Pollination Biology.	188
大谷剛：ミツバチ	188
松浦誠：スズメバチはなぜ刺すか	188
岩波洋造, 山田義男：図解花粉 走査電顕写真を中心として	189
IBRA 発行誌より	189
ニュース	191
第9巻(1988) 索引	191

第 10 卷

1 号

ミツバチヘギイタダニの侵入から 11 年—西ドイツでの経験と展望— N. Koeniger, S. Fuchs 1
 ミツバチに寄生する有害ダニの世界分布について 酒井哲夫 12
 ミツバチ寄生者としてのダニ類 小野正人 15
 ミツバチヘギイタダニの拡散および生態と防除 竹内一男 20
 ニホンミツバチはなぜミツバチヘギイタダニに抵抗性か 佐々木正己 28
 ニホンミツバチ頸部に寄生する日本未記録のホコリダニ *Tarsonemus indoapis* Lindquist 酒井哲夫・佐々木正己 37
 ミツバチに対する砂糖給餌Ⅱ T. S. K. Johansson, M. P. Johansson 39
 蜜源植物シリーズ 35. タンポポ 小川 潔 45
 原 淳：ハチミツの話 46
 Akratanakul, P.: Beekeeping in Asia 46
 IBRA 発行誌より 47
 松浦誠, 大滝倫子, 佐々木真爾, 安藤幸穂, 堀俊彦, 清水俊男：蜂の生態と蜂毒及びその防除, 治療対策 47
 ミツバチ科学研究所関係図書・論文・資料リスト 48
 ニュース 48

2 号

働き蜂の働き方 大谷 剛 49
 新潟県におけるミツバチの人工授精について 佐々木賀平 57
 代用花粉の給餌部位がローヤルゼリーと女王の生産に及ぼす影響 A. A. Zaytoon 59
 ミツバチ働き蜂の分業と幼若ホルモン (JH) —分業の JH 制御とマイクロ高速液体クロマトグラフィーを用いた血中 JH 濃度の定量法の確立— 笹川浩美 65
 セイヨウミツバチとニホンミツバチ蜂群に飛来するキロスズメバチの行動とミツバチの対応 酒井哲夫 73
 フランクフルト大学でのミツバチ科学研究を終えて 吉田忠晴 79
 街中に造られたニホンミツバチの巣 井上太郎 87
 第 11 回ミツバチ科学研究会に参加して 堀部清・田口迪太郎・小野保一・徳永勇次郎 88
 蜜源植物シリーズ 36. ヤナギ 清水芳孝 93
 Needham, G. R. et al. (Ed.): Africanized Honey Bee and Bee Mites 94
 トーマス・D・スイーレイ, 大谷剛訳：ミツバチの生態学 社会生活での適応とは何か 94
 Valli, E., D. Summers: Honey Hunters of Nepal 95
 IBRA 発行誌より 95
 ニュース 96

3 号

ミツバチの多回交尾と交尾標識 --- G. Koeniger 97
 ニホンミツバチの季節的体色二型の発現に及ぼす蛹期温度の影響 鶴田智子 103
 巣礎の簡易作製法 R. Ahmad 109
 人工授精によるトウヨウミツバチ 2 亜種 (*Apis cerana cerana*, *Apis cerana indica*) 間の交配 S. Wongsiri, C. Lekprayoon, S. Pothichot, Y. S. Lai 112
 虫媒花と昆虫 田中肇 115
 対馬の蜂洞 杉本和永 121
 ハチミツの成分と組成基準 松香光夫 125
 ミツバチ女王蜂の人工授精 吉田忠晴 132
 ミツバチの脱皮ホルモン (マキステロン) と幼若ホルモン (juvenile hormone III) タイター：ミニ・レビュー 清水利昭 139
 雄蜂の集合場所の探索—予報— 吉田忠晴 141
 蜜源植物シリーズ 37. ラベンダー 広田親子 142
 IBRA 発行誌より 143
 ニュース 144

4 号

ミツバチの生殖におけるピテロジェニンの役割とその制御 W. Engels 145
 ミツバチの精子の受精嚢内と生体外での運動性と代謝について L. R. Verma 149
 蜂群生殖の制御 H. H. W. Velthuis 155
 東南アジア発展途上国におけるトウヨウミツバチ養蜂の問題点 S. Wongsiri 160
 ミツバチ交尾飛行時刻の光周制御—自然交尾による純系の維持と任意系統間の交配にむけての試み— 佐々木正己・吉田忠晴 165
 東京の養蜂 小畑博美知 171
 パラグアイでの養蜂技術指導 栗原徹 175
 カリフォルニア大学のミツバチ研究所訪問記 太田正臣 178
 花とミツバチとデザイン展 丹羽新太郎 180
 小型バーコードを利用したミツバチの行動の解析の試み 玉川大学ミツバチ科学研究所 182
 第 5 回国際無脊椎動物生殖学会議 松香光夫 184
 ミツバチ人工授精講習会 吉田忠晴 186
 海外から社会性ハチ類研究者を迎えて 小野正人 187
 蜜源植物シリーズ 38. シナノキ 酒井哲夫 188
 井上敦夫：はちみつ診療所 189
 Gould, J. L., C. G. Gould: The Honey Bee .. 189
 ニュース 190
 第 10 卷 (1989) 索引 191

第 11 卷

1 号

玉川大学のミツバチ研究 40 周年にあたって	1
酒井哲夫	1
チョーク病被害状況調査—アンケート集計結果について— (社)日本養蜂はちみつ協会蜂病研究会	3
レンゲの蜜分泌様式と送粉昆虫の行動	11
村上—男・市野隆雄	11
セイヨウミツバチ働き蜂の大腮腺における女王物質 (9-ODA) 合成の誘導	17
色川卓朗	17
北国におけるニホンミツバチの生態とその保護運動—岩手県の場合を中心に—	21
藤原誠太	21
私のミツバチ記—趣味の養蜂 20 年—	27
田口迪太郎	27
ハチミツおよびハチミツ加工品 1. アルゼンチン	31
Macaya S. A.	31
ブラジルの養蜂	37
第 32 回国際養蜂会議実行委員会	37
第 32 回国際養蜂会議—リオデジャネイロで開催—	40
井上凱夫・渡辺英男	40
第 1 回アジア太平洋昆虫学会議	43
松香光夫	43
16 年間連続で営巣したキイロスズメバチ	45
小野正人・山口富夫	45
Croft, L. R.: Allergy to Bee Stings and Its Prevention	46
Ruttner, F.: Breeding Techniques and Selection for Breeding of the Honeybee	46
IBRA 発行誌より	47
杉山恵一: ハチの博物誌	47
ニュース	48
ミツバチ科学研究所関係図書・論文・資料リスト	48

2 号

ユカタン紀行—マヤの養蜂をもとめて—	49
井上民二	49
対馬の和蜂の養蜂今昔	59
大坪藤代	59
対馬におけるニホンミツバチの採蜜	63
吉田忠晴	63
パキスタンにおけるトウヨウミツバチ <i>Apis cerana</i> Fabr. 野生種の死滅要因に関する—考察	67
N. Muzaffar	67
ハチミツおよびハチミツ加工品 2. オーストラリア Honey Corporation of Australia Limited	69
神奈川県のミツバチ 40 年	76
柳下重幸	76
寒冷地方のミツバチ越冬法を顧みて	81
竹島秀夫	81
私のハチミツ健康法—難病を克服した体験から—	85
近藤政俊	85
第 12 回ミツバチ科学研究会に参加して	89
加藤進・吉田鍵司・高井秀夫・藤原守男	89
蜜源植物シリーズ 39. リュウガン	93
水野宗衛	93
Nachtigall, W. (Ed.): The Flying Honey-bee; Aspects of Energetics	94
澤口たまみ: 虫のつぶやき聞こえたよ	94
IBRA 発行誌より	95
ニュース	96

3 号

ニホンミツバチ誌—新本発行によせて—	97
岡田一次	97
ミツバチヘギイタダニ <i>Varroa jacobsoni</i> Oud. を人為的に寄生させた有蓋蜂児に対するトウヨウミツバチ <i>Apis cerana</i> F. の反応と、タイにおけるトウヨウミツバチに対するミツバチヘギイタダニの寄生率	99
W. Rath, Wh. Drescher	99
アフリカ蜂化ミツバチの特徴と拡散	105
竹内—男	105
メキシコにおけるアフリカ蜂化ミツバチ	113
A. Dietz, C. Vergana	113
ニホンミツバチの収穫ダンスと採餌距離	117
沖本尚志・佐々木正己	117
セイヨウミツバチの蜂群およびローヤルゼリーを利用したニホンミツバチ女王蜂養成の試み	121
奥宣雅・小野正人	121
ハチミツに含まれる花粉の同定	125
坊田春夫	125
福島県蜜源分布調査	129
丹治健吉	129
ハチミツおよびハチミツ加工品 3. 中国	133
China National Native Products & Animal By-products Import & Export Corporation	133
ハチミツおよびハチミツ加工品 4. メキシコ	136
Comite Apicola Peninsular	136
蜜源植物シリーズ 40. カキ	141
深江義忠	141
IBRA 発行誌より	143
ニュース	144

4 号

ミツバチの定位と情報伝達	145
M. Lindauer	145
ニホンミツバチと汚れもの	151
岡田一次	151
パラグアイ国養蜂発展の経過と現状	155
渡部和夫	155
ローヤルゼリーの採乳におけるゴム製および蜂ろう製王椀の比較	159
H. A. S. El-Din, M. A. El-Samni	159
日本で最初の雄蜂の集合場所の確認	161
吉田忠晴	161
スズメバチとの戦い	163
仲谷正勇	163
「ミツバチ」生態絵画集	167
ハチミツの血小板凝集抑制作用	171
清水公博・五十嵐紀子・高野則子・高塚純・竹内節夫	171
韓国ミツバチ科学交流記	174
松香光夫	174
国際社会性昆虫学会第 11 回インド・バンガロール大会および東南アジアのミツバチ研究機関歴訪記	175
吉田忠晴・佐々木正己	175
リングウアー博士滞在記	181
窪田阿砂美	181
玉川大学ミツバチ研究 40 周年記念特別研究会に出席して	183
鈴木博・春井勝・溝上健文	183
IBRA 最近の 10 年	186
松香光夫	186
蜜源植物シリーズ 41. ユリノキ	187
毛藤勤治	187
Crane, E: Beekeeping Science, practice and World Resources	188
毛藤勤治: ユリノキという木 魅せられた樹の博物誌	189
IBRA 発行誌より	189
ニュース	190
第 11 巻 (1990) 索引	191

第12巻

1号

アジア養蜂研究協会の設立	
..... L. R. Verma・酒井哲夫・松香光夫	1
新しいミツバチのチョーク病対策の検討	
..... 中根崇・岡田望・平野稔泰・芦澤尚義	5
台湾におけるミツバチのチョーク病の分布と季節消長	
..... K. K. Ho, L. K. Chu, T. M. Liu	11
ニホンミツバチ(日本蜂)一覚え書きI	
..... 岡田一次	13
サムイ島のトウヨウミツバチとその養蜂	
..... 中村純・S. Wongsiri・佐々木正己	27
種々のワックスで造った巣礎および人工王椀へのミツバチの反応	
..... 吉田祐三・吉田忠晴	31
ミツバチ花粉だんごの性質と利用	
..... 松香光夫	34
ハチミツおよびハチミツ加工品 5. 米国	
..... National Honey Board	39
女王蜂の門扉	
..... 太田正臣	45
Roubik, D. W.: Ecology and Natural History of Tropical Bees	46
Sawyer, R.: Honey Identification	46
IBRA 発行誌より	47
Verma, L. R.: Beekeeping in Integrated Mountain Development	47
ミツバチ科学研究所関係図書・論文・資料リスト	48
ニュース	48

2号

ハナバチとミツバチの世界	平嶋義宏	49
韓国の養蜂	K. S. Woo	55
韓国内のトウヨウミツバチの酵素多型		
..... M. L. Lee, K. S. Woo	58	
ニホンミツバチ(日本蜂)一覚え書きII		
..... 岡田一次	61	
ニホンミツバチ文献集		
..... 玉川大学ミツバチ科学研究所	77	
第13回ミツバチ科学研究会に参加して		
遠藤国雄・下鳥大作・光源寺宏治・浅田真一	87	
蜜源植物シリーズ 42. スミレ	田中 肇	91
林盛秋編: 蜜源植物		92
Sakagami, S. et al. (eds.): Natural History Wasps and Bees in Equatorial Sumatra ..	92	
Int. Bee Res. Assoc.: Proceedings of the Fourth International Conference on Apiculture in Tropical Climates	93	
IBRA 発行誌より	93	
ニュース	94	

3号

ミツバチ生産物と私たちの健康	
..... 酒井哲夫・松香光夫	97
ハイブリッド・ミツバチ「ふくおかハイクィーン」の作出	
..... 深江義忠	103
ニホンミツバチとセイヨウミツバチの採餌行動の比較—特に蜜胃内容物に注目して—	
..... 今井教孔	107
ミツバチの大顎の形態—特に裏面隆起上に配列する一条の剛毛群について—	
..... 須本茂幹・佐々木正己	111
オオスズメバチの営巣場所—熊本県荒尾市での観察を中心に—	
..... 小野正人	115
樹木抽出成分(青森ヒバ)を用いたミツバチ・チョーク病防除について	
..... 岡部敏弘・斉藤幸司	119
ハチミツおよびハチミツ加工品 6. 日本 鈴木勲	129
ユーゴスラビアの養蜂	
..... 第33回国際養蜂会議実行委員会	135
台湾でのハチミツ, ローヤルゼリー成分分析指導を終えて	
..... 竹中哲夫	137
IBRA と AAA	
..... 松香光夫	140
蜜源植物シリーズ 43. ネズミモチ	
..... 萩原信介	141
Morse, R. A., R. Nowogradzki (eds.): Honey Bee Pests, Predators and Diseases, Second Edition	142
浙江省試験技術研究所, 杭州市薬物研究所 編著: 蜜源植物花粉形態と成分	142
IBRA 発行誌より	143
ニュース	144

4号

レンゲの害虫—アルファルファタコゾウムシ—	
..... 奥村正美	145
ハチに刺されに対する生体反応とその影響	
..... R. M. Rupp	151
台湾の養蜂	
..... 謝 豊國	159
齊昭公とニホンミツバチ	
..... 原 道德	163
樹木蜜源の保残にむけて	
..... 小野保一	170
私のミツバチ記	
..... 堀部 清	175
全日本はちみつ協同組合 20年のあゆみ	
..... 清水進一	179
養蜂回顧録	
..... 白岩敏伯	183
第22回国際動物行動学会議—京都で開催—	
..... 小野正人	187
Spivak, M. et al. (eds.): The "African" Honey Bee	189
Engels, W.: Social Insects	189
ニュース	190
第12巻(1991) 索引	191

第 13 卷

1 号

ヒマラヤオオミツバチ (<i>Apis laboriosa</i>) の生態	1
..... B. A. Underwood	1
ハナバチの育児習性の進化	9
..... 坂上昭一	9
アジアのミツバチ	19
..... 小野正人	19
カラー写真「アジアのミツバチ」	23
..... 角谷岳彦	23
ヤブガラシの花蜜分泌とミツバチの訪花行動	27
..... 角谷岳彦	27
バラグアイでの養蜂技術指導を終えて	35
..... 中村あゆみ	35
ニホンミツバチ奮闘記	38
..... 澤口たまみ	38
タイのローヤルゼリー, 国際市場進出によせる期待—ローヤルゼリー会議に出席して—	41
..... 中村純	41
名古屋市内の庭先にできた自然巣	43
..... 丹羽新太郎	43
IBRA と AAA	45
..... 松香光夫	45
蜜源植物シリーズ 44. ハゼノキ	46
..... 臼井英治	46
国際ミツバチ研究協会	47
..... ニュース	48

2 号

プロポリスに含まれる生理活性物質—抗ガン物質の探索を中心に—	49
..... 松野哲也	49
養蜂の起源と巣箱の変遷—神話からラングストロスまで—	55
..... 小西正泰	55
アピスタンによるミツバチヘギイタダニ (<i>Varroa jacobsoni</i> Oud.) の駆除効果およびミツバチに対する安全性	60
..... 吉田忠晴	60
ネパールの養蜂近代化を担って—ヒマラヤ・ビー・コンサーン社の活動—	65
..... 中村 純	65
ブラジル産カベハリナシバチのイチゴのポリネータとしての利用	71
..... 前田泰生・手塚俊行・灘野宏行・鈴木謙治	71
ミツバチを追って—私の芸術活動—	79
..... M. Thompson	79
我が子とプロポリス軟膏	82
..... 五十嵐美加	82
アジアのミツバチと寄生ダニに関する国際会議参加とボルネオ島におけるミツバチの調査	85
..... 吉田忠晴・小野正人	85
第 14 回ミツバチ科学研究会に参加して	89
..... 太田正臣・野口耕司・東浩・折戸金蔵	89
アジア養蜂研究協会	93
..... 松香光夫	93
国際養蜂研究協会	94
..... Bailey L. and B. V. Ball: Honey Bee Pathology	95
..... Goodman L. J. and R. C. Fisher (eds.): The Behavior and Physiology of Bees	95
..... ニュース	96

3 号

ミツバチの腐蛆病—現在の知見—	97
..... 東量三	97
ミツバチの <i>Enterococcus faecalis</i> 感染症	111
..... 山下利治	111
ミツバチヘギイタダニ駆除剤三菱アピスタン [®] について	115
..... 東浩	115
ミツバチのコロニーにおける換気調節	120
..... 高橋正一	120
分蜂によってコロニーを増やすハチ—チビアシナガバチとミツバチ—	125
..... 山根爽一	125
北ヨーロッパからのマルハナバチの利用	133
..... 和田哲夫・栗原純	133
農林水産省の「ミツバチ展」盛況	137
..... 最上愿治	137
わが家のミツバチ	139
..... 太田正臣	139
「ミツバチのはなし」の出版	140
..... 酒井哲夫	140
アジア養蜂研究協会	141
..... 松香光夫	141
国際ミツバチ研究協会	142
..... ベルンド・ハインリッヒ, 井上民二 (監訳): マルハナバチの経済学	143
..... Smith, D. R. (ed): Diversity in the genus <i>Apis</i>	143
..... ニュース	144

4 号

プロポリスおよびその製品の定性と定量	145
..... 藤本琢憲	145
花粉食品の規格について	151
..... 森登・仁科保	151
西中国山地周辺における伝統的養蜂	159
..... 宅野幸徳	159
ニホンミツバチとこれを誘引するキンリョウヘン(ラン)との特異な関係	167
..... 佐々木正己	167
韓国南部地方のトウヨウミツバチから <i>Varroa underwoodi</i> の発見	173
..... K.S. Woo	173
ミツバチ雄蜂児粉末を用いたカンタンの人工飼育	175
..... 新井啓太	175
グアテマラの養蜂—青年海外協力隊に参加して—	179
..... 五十嵐哲也	179
第 19 回国際昆虫学会議 (北京) に参加して	183
..... 佐々木正己	183
蜜源植物シリーズ 45. クズ	186
..... 伊野良夫	186
アジア養蜂研究協会	187
..... 松香光夫	187
国際ミツバチ研究協会	188
..... 渡辺孝: ミツバチの歩んだ道—人類とともに—	189
..... 年—	189
Kiew, R. and M. Muid: Beekeeping in Malaysia: Pollen atlas	189
..... ニュース	190
第 13 卷 (1992) 索引	191

第14巻

1号

ニホンミツバチに関する総合研究の概要	酒井哲夫	1
可動巣枠式巣箱によるニホンミツバチ (<i>Apis cerana japonica</i> Radoszkowski) の飼育法	吉田忠晴・小野正人・岡田一次	3
セイヨウミツバチとニホンミツバチの生態比較	酒井哲夫・小野正人・小林伸一・佐々木正己	13
各種糖類給餌料が貯蜜成分に及ぼす影響	(株)全国はちみつ公正取引協議会	23
セイヨウミツバチ初輸入とその行方	原道徳	30
バングラデシュの養蜂	B. Svensson	36
イギリス, オランダの養蜂を垣間見て—ヨーロッパ園芸紀行—	春井勝	38
第8回国際花粉学会に参加して	佐藤紀男	43
アジア養蜂研究協会 (AAA)		45
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)		45
Shivanna, K. R. and N. S. Rangaswamy: Pollen Biology: A Laboratory Manual		47
Moritz, R. F. A. and E. E. Southwick: Bees as Superorganisms —An Evolutionary Reality—		47
ニュース		48
ミツバチ科学研究所関係図書・論文・資料リスト		48

2号

ニホンミツバチとセイヨウミツバチの収穫ダンスの解析とそれに基づく採餌圏の比較	佐々木正己・高橋羽夕・佐藤至洋	49
ニホンミツバチ女王蜂の人工授精	吉田忠晴・斉藤充朗・飯塚敦	55
ニホンミツバチ群におけるミツバチヘギイタダニの寄生の消滅	竹内一男	58
ニホンミツバチの巣分かれ (分蜂)	岡田一次	61
スズメバチの生態—多様な生活史型—	松浦誠	73
ローヤルゼリーおよびプロポリス中の安息香酸について	松香光夫	79
走査電子顕微鏡による日本産蜜源植物の花粉形態 I. 木本類について	三好教夫	81
第15回ミツバチ科学研究会に参加して	安藤竜二・高野雄二・丹羽新太郎・渡辺英男	90
アジア養蜂研究協会 (AAA)		94
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)		95
ニュース		96

3号

ミツバチ生産物とテラマイシン	中村純・松香光夫	97
アジアのミツバチ6種の刺針	S. Jayasvasti, S. Wongsiri	105
セイヨウオオマルハナバチの導入による日本の送粉共生系への影響	加藤真	110
森林利用の多様化に向けて—山形県真室町の養蜂—を例として—	餅 聡子・浅川澄彦	115
トウヨウミツバチ <i>Apis cerana cerana</i> の可動式巣枠による飼育法	中華人民共和国農業部	123
インドネシアの養蜂	A. Sudrajat, A. Sulistianto	129
ミツバチに対する花粉代用物ならびに砂糖添加物給与の効果	渡辺英男	133
DADANT社の「THE HIVE AND THE HONEY BEE」—その変遷と新版の内容—	松香光夫	136
吉田養蜂場訪問記	太田正臣	140
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)		141
アジア養蜂研究協会 (AAA)		142
松本忠夫・東正剛 (編): 社会性昆虫の進化生態学		143
井上民二・山根爽一 (編): 昆虫社会の進化ハチの比較社会学		143
ニュース		144

4号

ニュージーランドにおける輸入マルハナバチの歴史と利用	B. J. Donovan	145
農業従事者のハチアレルギーに関する実態調査—主にスズメバチ, ミツバチ特異 IgE 抗体保有者—	高橋裕一・楨 和子・東海林喜助	153
ベトナムの伝統的な可動巣板式巣箱を用いたトウヨウミツバチ養蜂	E. Crane, V. V. Luyen, V. Mulder	157
神奈川県湘南地域でのニホンミツバチの生息状況	浅田真一	165
ミツバチの脳の生体アミンと寄生バチ毒囊の生体アミン・毒液について	清水利昭・荒井徹	170
第2回マルハナバチ利用技術研究会に参加して	小野正人	173
養蜂とパソコン通信	中村純	175
ニホンミツバチの定飼養蜂	山中清	179
マヤのハチとこども	大木智之	183
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)		186
アジア養蜂研究協会 (AAA)		187
井上 健・湯本貴和 (編): 昆虫を誘い寄せる戦略—植物の繁栄と共生—		189
田中 馨: 花に秘められた謎を解くために—花生態学入門—		189
ニュース		189
第14巻 (1993) 索引		190

第15巻

1号

ラットう蝕に対するプロポリスの効果	1
池野久美子・池野武行・宮沢忠蔵	
伊那谷のニホンミツバチ	7
岩崎靖・井原道夫	
トウヨウミツバチの研究と普及に向けた体制作り	19
L. R. Verma	
セイヨウミツバチと中国の養蜂	25
Z. D. Xu and Y. H. Xie	
プロポリスの安全性—急性毒性試験—	29
金枝純・仁科保	
中国の養蜂と第33回国際養蜂会議	34
松香光夫・竹内一男・榎本ひとみ	
第33回国際養蜂会議—北京で開催—	40
柳下重幸・井上凱夫・鷲野憲之・野口耕司	
アジア養蜂研究協会 (AAA)	44
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)	47
ニュース	48

2号

走査電子顕微鏡による日本産蜜源植物の花粉形態	
2. 草本類について	49
三好教夫・板野博行	
対馬の伝統的養蜂	59
宅野幸徳	
ニホンミツバチとクモ (蜘蛛)	69
岡田一次・小野正人	
熱帯養蜂の現状と問題点	75
松香光夫	
プロポリスの生産と利用状況—訪問見学記—	81
山本倫大	
第16回ミツバチ科学研究会に参加して	87
相田由美子・肥後一夫・水谷匡男・和田哲夫	
佐々木正己：養蜂の科学 (昆虫利用科学シリーズ 5)	92
Connor, L. J., Rinderer, T., Sylvester, H. A. and S. Wongsiri: Asian Apiculture (Proceedings of the first International Conference on the Asian Honey Bees and Bee Mites)	92
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)	93
アジア養蜂研究協会 (AAA)	94
ニュース	96

3号

ミツバチ科学研究所の15年—玉川大学学術研究 所への脱皮—	97
松香光夫	
トウヨウミツバチの生態的特性と養蜂種としての 可能性	99
佐々木正己	
マルハナバチの利用—その現状と将来—	107
小野正人	
ミツバチ・コロニーの微生物に対する総合的防除 機構	115
吉垣茂	
セイヨウミツバチの毒液の殺虫活性—女王蜂、働 き蜂間の相違とその意義—	119
加藤学	
ニホンミツバチの珍しい営巣	123
市野弘・岡田一次	
稲の増産にハチミツ—明治前期の試験顛末—	125
原道徳	
「養蜂と環境教育」の実践報告	131
安藤竜二	
グアテマラでの協力活動	137
大木智之	
アピモンディア近信	141
渡辺英男	
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)	143
ニュース	144

4号

プロポリス—健康補助食品—	145
松田 忍	
プロポリスのマクロファージ活性化作用と癌転移 抑制効果実験について	155
新井成之・栗本雅司	
食料増産に結びつく花粉媒介者としてのトウヨウ ミツバチの可能性	163
L. R. Verma	
アジアのミツバチ3新種の分布域の見直し	167
G. W. Otis	
プロポリス中の抗ヘリコバクター・ピロリ活性物 質について	171
伊藤紀久夫・天宮一郎・池田修一・小西正隆	
津田繩とその使用方法	174
田中肇	
第2回アジア養蜂研究協会大会—インドネシア・ ジョグジャカルタで—	175
吉田忠晴	
TERIMA KASIH (ありがたう) インドネシアの皆 様	180
酒井哲夫	
第2回AAA大会に参加して	182
鈴木佳子・光畑雅宏・吉垣茂	
アジア養蜂研究協会 (AAA)	184
国際ミツバチ研究協会 (IBRA)	188
松野哲也：プロポリスその薬効を探る	189
渡辺 孝：ミツバチ文化史	189
ニュース	190
第15巻 (1994) 索引	191